

僧帽弁疾患の手術のため当院に入院されていた患者さんの診療 情報を用いた臨床研究に対するご協力をお願い

研究責任者	所属 <u>外科学(心臓血管)</u> 職名 <u>専任講師(学部内)</u> 氏名 <u>岡本 一真</u> 連絡先電話番号 <u>0353633804</u>
実務責任者	所属 <u>外科学(心臓血管)</u> 職名 <u>助教(教育)</u> 氏名 <u>北原 大翔</u> 連絡先電話番号 <u>0353633804</u>

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、北原大翔までご連絡をお願いいたします。

1 対象となる方

西暦 1990 年 1 月 1 日以降、心臓血管外科にて僧帽弁の治療のため入院し、手術を受けた方(正中切開手術の患者を除く)

2 研究課題名

右小切開開胸による僧帽弁手術の成績

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部 外科学(心臓血管)

4 本研究の意義、目的、方法

近年心臓手術器具の発展に伴い可能な限り体に負担をかけず、傷の小さい手術、“低侵襲心臓手術”が急速に普及している。例えば右胸に 5cm ほどの切開をおき特殊な器具を用いて心臓の手術を行う方法があり、僧帽弁閉鎖不全症を初めとして多くの心臓疾患に適応が広がっている。僧帽弁疾患は、その解剖学的アプローチの良さ、若年時での発症の多さなどから低侵襲心臓手術の良い適応となる。1990 年より当院で行っている僧帽弁疾患に対する右小切開開胸僧帽弁手術の成績を調査し、より優れた治療法の開発について検討する。

5 協力をお願いする内容

診療録の閲覧、画像データの閲覧、各種検査データの閲覧

電話やハガキ、手紙、紹介元医療機関への問い合わせなどの方法で現在の状況を尋ねる場合がございます。

6 本研究の実施期間

倫理委員会承認後～2020年3月31日（予定）

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第3者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合にのみ参照します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

慶應義塾大学医学部 外科学（心臓血管）

北原 大翔

Tel: 0353633804

Fax: 0353793034

E-mail: kthrhrt11@keio.jp

対応可能時間 平日9時～17時

以上